

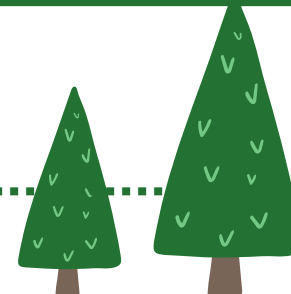
戸畑を歩いて考える、
あなたはまちをどうしたいですか？
～戸畑の人の想いに触れる旅の提案～

i-Design 地域創生実践演習

龍英俊・杉野加壽子・溝口孝夫・田中正



目次



1 活動概要

2 活動の目的

3 戸畑を選んだ理由

4 戸畑の特徴・歴史

5 フットパスコース紹介

6 戸畑で頑張っている店

7 戸畑の神社

8 戸畑の商店街の衰退と変貌

9 天神商店街の歩みと意義

10 感想

1

活動概要

⇒活動中、LINEとメールで効率的に情報交換

①フットパスの勉強

⇒ウォーキングと何処が違う？ フットパスに参加（行橋、中津）

② フットパスの目的地を戸畑に選定

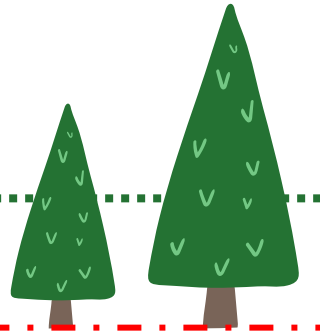
③ 戸畑の概要（歴史、特徴、課題）勉強、コースや立ち寄り先決め

- ・ グループで3回＋各自・数回、町歩き実施
- ・ 戸畑の商店街の現状、衰退の原因など調査
- ・ 活動の目的再確認

④ 活動の成果として、戸畑のフットパスを2/17実施予定



活動の目的



当初の目的 ⇒ 性善説の化学反応を期待

「街への愛着」の低い人
→街の良さ、環境
頑張っている人
を知らない人

街を歩き、
頑張っている人に触れる

「街の良さ・課題」を
再認識し、改善活動
への参加を期待

工場・社宅の街⇒ 豊かな文教都市

- ・工場移動による人口減少
- ・駅前にイオン、ウェルとばた
- ・商店街への客減少 など

「変わりゆく戸畑」を見て

目的の変化

- ・あなたの住む街は？
 - ・課題を探し、改善意識を持って行動しませんか？
- 具体的な呼びかけ

戸畑を選んだ理由

企業城下町（旧八幡製鉄）から時代とともに変化を遂げている街

① 歴史があり、
住みやすい文教都市

② コンパクトな街！
（公共施設・公園・文化、
スポーツ施設）

③ 日本の人口減少の課題を
体現化している街

④ 故郷への回想・愛着

〈戸畑の近現代史〉

- 1899年（明治32年） 町制施行 戸畑村 → 戸畑町
- 1908年（明治41年） 鉄道（鹿児島本線）が戸畑経由
- 1921年（大正10年） 八幡製鉄所が戸畑に進出
- 1924年（大正13年） 市制制度 戸畑町 → 戸畑市
- 1963年（昭和38年） 5市が合併 北九州市誕生 → 戸畑区
- 1999年（平成11年） 戸畑駅前再開発 → イオン戸畑SC開業

- ・面積：16.61km²（東西：4.1km 北：5.4km）
- ・人口：55,703人（2023年10月1日現在）

〈名所/旧跡/観光スポット〉

- ・若戸大橋
- ・西日本工業倶楽部
- ・戸畑祇園 提灯大山笠
- ・夜宮の大珪化木（天然記念物）
- ・飛幡神社/菅原神社

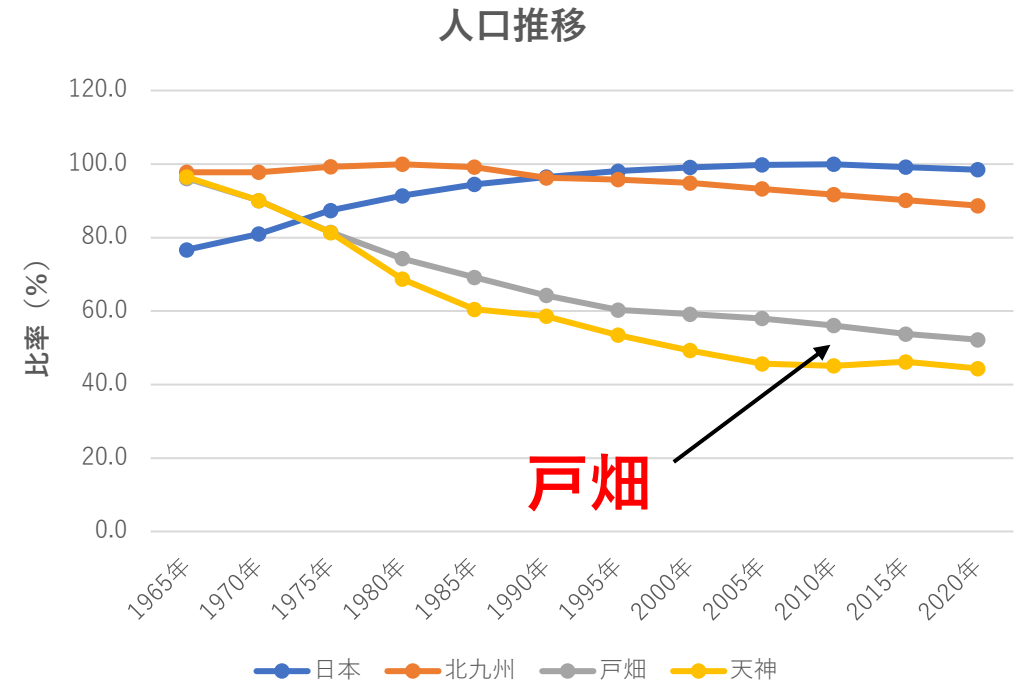


4

戸畑の特徴・歴史

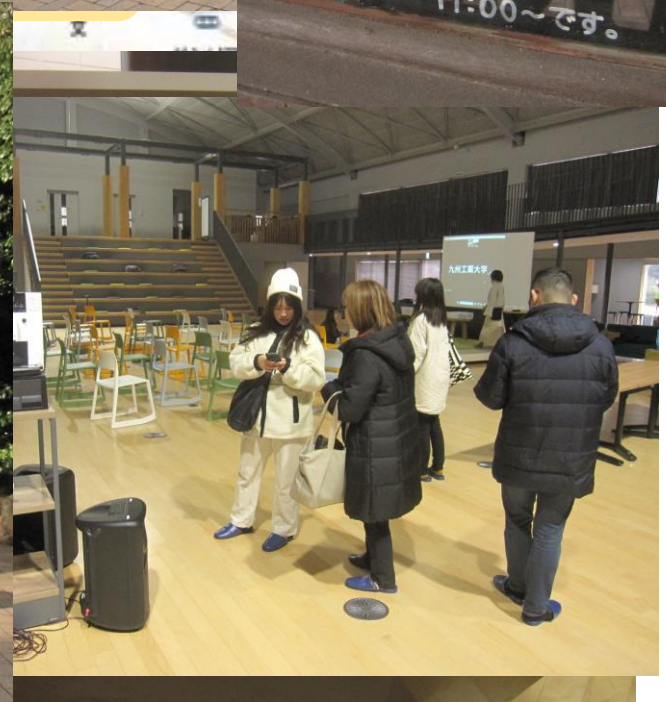
〈戸畑の特徴〉

- ・人口減少は60年前(1960年代)
→〈居住地の郊外化〉〈企業の撤退〉
- ・11万人→5.5万人 (人口は半減)
- ・60年前 戸畑の人口密度は日本で5番目の
超過密都市
- ・企業の撤退により〈工業地域〉→〈文教地域〉
変貌中
- ・特に注目されるものはないが
→〈**穏やかな住みやすい町**〉



北九州市の中で人口減少が最も早い！

コース紹介



6

戸畑で頑張っている店



犬丸荘



犬丸カフェ



戸畑音頭本舗まつ屋



バンキッシュ

7

戸畑の神社

【飛幡八幡宮】

建創：建久年間（1190～1199年）

社格：県社・別表神社

主祭神：応神天皇

主な祭事：戸畑祇園大山笠行事（重要無形民俗文化財）

享和2年（1802年）戸畑村内にて疫病が蔓延し

飛幡八幡宮の須佐之男命に平癒を祈願した所終息

したため、翌年（1803年）から始められた祭り



【菅原神社】

菅原道真の立ち寄った地の神社

【金比羅神社】

戸畑の最高峰（126m）金比羅山に鎮座する神社

【中原八幡宮】

江戸初期（1527年）中原村の鎮守様

【お手洗いの池】

道真公が使われたとして創建された神社

【恵比須神社】

飛幡の浦に住み着いた平家残党が勧請した神社



8

戸畑の商店街の衰退と変貌

○地方都市の商店街 → 衰退・シャッター通り

【衰退の背景】

①

②

③

○フ

・

・

→

○衰

・

・

○商

・

・

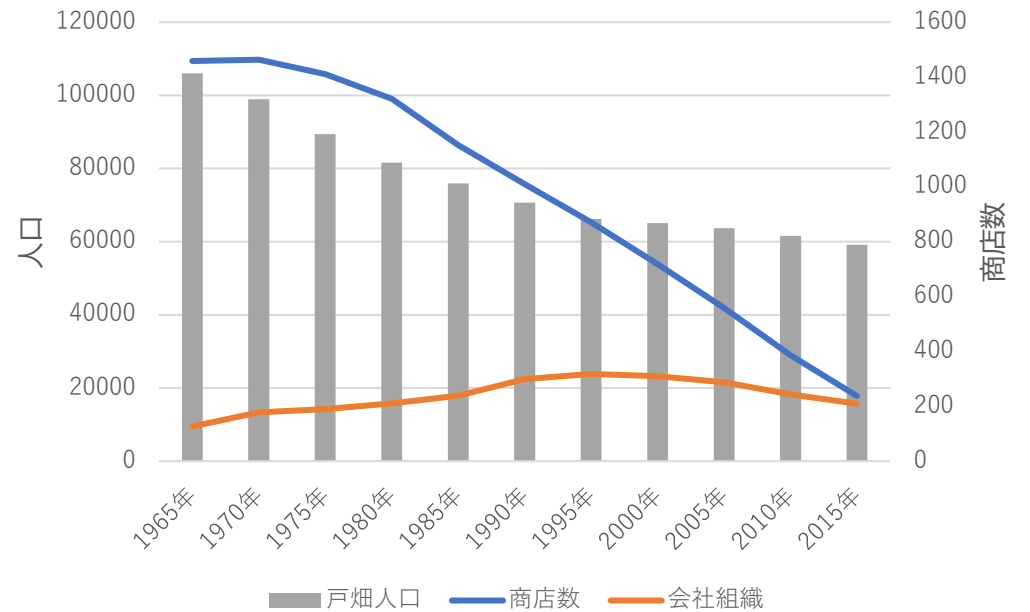
・



(人)
(進街)

- ・天神商店街 → スーパー、コンビニ
- ・中本町商店街 → 大型ショッピングセンター

戸畑の商店数と人口



戸畑の商店街数の急減

天神商店街の歩みと意義

- ・戦後の昭和の時代が最盛期 **100店舗**
- ・天神商店街の小冊子（1999年発行）
→当時の様子
- ・小冊子に記載されている商店街数は**90店舗**
→まだ活気に溢れる商店街

○現状 〈100店舗〉 ↘ 〈20店舗以下〉

商店街のある店主の話

- ・多くは**開店休業状態**
- ・店主の高齢化と後継者問題
- ・規制緩和で、商売継続困難
- ・この店主も近いうちに店仕舞

○住宅地商店街衰退の影響

- ・商店街のシャッター街化（衰退・変貌）
- 徒歩生活圏**の高齢者や自動車を持たない人
- 買い物弱者・買い物難民**
- 失われる**地域の元気とつながり**



〈天神商店街が目指した店作り〉 19
99年行の小冊子より抜粋

〈高齢者にやさしく、地域に貢献できる商店街・店づくり〉
〈この地域になくてはならない商店街・店づくり〉



地域再生〈街と町〉新たな仕組みづくり



歩くたびに気づく
高まる街への
愛着

住みやすさを感じる街、
住みたくなる街



ふるさと再発見
のフットパス

すべてが程よく
揃う街
終の住処に！



告知

生まれ変わる戸畑を考えながら歩いてみませんか？
戸畑フットパス（まちあるき）
～戸畑の人の想いに触れる旅～



2月17日(土)

13:00~16:30

(受付) 12:30~13:00



📍 ウェルとばたロビー集合

募集人数：30名（先着順）

申込締切：2月12日

参加料：300円（茶菓子代）

申し込み方法・問い合わせ先：idcc@kitakyu-u.ac.jp
※「件名」に「戸畑フットパス参加希望」とご記入ください。
以下の必要事項をメール本文に記入してください



- ①氏名（ふりがな）
- ②所属（i-design生・i-カフェ・北九大大生・高校生・一般）
- ③連絡先（E-mailアドレスと電話番号）
- ④オプションツアーの参加有無（事前プチランチ会・事後角打ち会）

主催：i-Designコミュニティカレッジ事務局 4期生 地域創生領域

実行委員メンバーが選ぶ見どころ5選！



①ユネスコにも選ばれた日本を代表する祭り
7月に毎年開催されている北九州を代表する戸畑祇園大山笠。今回は祇園山笠の行われるエリアも祭り気分です。



②天神商店街

在りし日の賑わいに思いをはせて商店街を歩いてみませんか？
頑張っているお店にも注目！！



③戸畑の歴史を感じることができる街かど掲示板

古い映画や戸畑の昔の街並みが紹介されていて
今と昔の違いを知ることができる掲示板！



④子どもたちの道路の落書きがお出迎え
レトロな駄菓子屋大丸商店

子どもが安心して買い物や宿題をできる場所。
町内みんなの居場所。
珍百景にも紹介されました！



⑤若物がチャレンジできる街戸畑

時代を感じさせるアパートの一角にある魅力のあるカフェ。
ドアの向こうには店主の夢があふれ、自分の夢をつむぐ、
誰もが集える空間があります。



こちらから申し込み可能です！→

